

一般社団法人日本知財学会 令和4（2022）年度事業報告

(1) 知的財産に関する学術研究（定款第5条第1号）

- ・各研究分科会が、分科会のテーマに沿った学術研究を行った。
- ・会員を対象とした定例研究会を行った。
- ・法人会員を対象としたエグゼクティブ知財時事懇談会にて、時事トピックスに関する学術研究を行った。
- ・他機関とも協力し、国際的な研究交流の拡大を行った。

■分科会活動（定例研究会、学術研究発表会での分科会セッションを含む）

【知財人財育成研究分科会】

- 2022年7月28日 第38回例会「知財人財はどのように育ったか／育てられたか？
～その5：久慈直登氏（日本知的財産協会 顧問）に聞く～」
- 2022年8月25日 第61回定例研究会（第39回例会）「企業の知財部門はどのような教育を受けた人財を求めるか
～『知財専門職大学院の教育』を題材として～」
- 2022年9月29日 第40回例会「知財人財はどのように育ったか／育てられたか？
～その6：中村 栄氏（旭化成株式会社 シニアフェロー）に聞く～」
- 2022年11月5日 年次学術研究発表会セッション
「企業知財部門の役割と、企業知財人財の在り方を 再考する（過去・現在、そして次世代）」

【知財教育分科会】

- 2022年4月30日 第58回定例研究会（第60回知財教育研究会）「知的財産学における教育課程編成上の参照基準について」
- 2022年5月29日 第59回定例研究会（第61回知財教育研究会）「高等学校における知財創造教育の導入に向けて」
- 2022年6月12日 第62回知財教育研究会「知財教育」と「知財創造教育」／一般
- 2022年8月28日 第63回知財教育研究会「知財教育」と「知財創造教育」／一般
- 2022年11月6日 年次学術研究発表会セッション「知財学会20年、知財教育分科会15年の節目に考える」
- 2023年2月5日 第65回定例研究会（第64回知財教育研究会）「高校生向けの知財講演の実例等の紹介」
- 2023年3月5日 第65回知財教育研究会「知財教育」と「知財創造教育」／一般

【知財学ゼミナール】

- 2022年6月18日 オープンセミナー（知的財産マネジメント研究会 共催）
「世界の知的財産権～グローバル視点での知的財産権制度の活用・知財人材の育成と活躍の場を広げる～」
- 2022年7月16日 オープンセミナー（知的財産マネジメント研究会 共催）
「医薬品開発の適切なインセンティブ
ー EUの医薬品特許期間補充制度（SPC）を巡る動向からの示唆ー」
- 2022年9月22日 第62回定例研究会「若手発明家・ベンチャー企業の特許出願から見る 2022年注目テクノロジー」

【ビジネスと知的資産・知財法研究分科会】

- 2022年7月7日 第28回ビジネスと知的資産・知財法研究分科会
「知財・無形資産の投資・活用戦略の開示及びガバナンスに関するガイドライン」の表と裏
ー知財KPI研究の進捗も含めてー
- 2022年10月11日 第63回定例研究会（第29回ビジネスと知的資産・知財法研究分科会）
「『世界市場で勝つためのルールメイキング』と知財活動」
- 2022年11月6日 年次学術研究発表会セッション

「イノベーションのマネジメント ISO56000 シリーズと 新事業開発のリアル」

【大学発・イノベーション分科会】

- 2022 年 7 月 16 日 第 60 回定例研究会(第 24 回研究会)「知財実務家が考える経済安全保障関連制度がアカデミアの知財活動に与える影響―海外企業、大学との共同研究を中心に―」
- 2022 年 10 月 15 日 第 25 回研究会「利益相反を中心としたアカデミア発ベンチャーのリスクマネジメント
―アカデミアの起業と大学 - 大学発ベンチャーの産学連携」
- 2022 年 11 月 6 日 年次学術研究発表会セッション「大学における知財マネジメントの変化と展望」
- 2023 年 1 月 31 日 第 26 回研究会 (ABS セミナー共催)
「遺伝資源に関連する伝統的知識の WIPO での取扱いについて」

【コンテンツ・マネジメント分科会】

- 2022 年 4 月 19 日 第 72 回 CMSC 研究会日本知財学会 20 周年記念 コンテンツ・マネジメント分科会連続研究会
第 1 回「日本を勝ちに導く XR/メタバースの知財政策と実務」
- 2022 年 5 月 30 日 第 73 回 CMSC 研究会日本知財学会 20 周年記念 コンテンツ・マネジメント分科会連続研究会
第 2 回「XR/メタバースにおけるコンテンツ取引の展望と権利処理の課題」
- 2022 年 6 月 26 日 第 74 回 CMSC 研究会日本知財学会 20 周年記念 コンテンツ・マネジメント分科会連続研究会
第 3 回「XR オブジェクトの知的財産法上の保護」
- 2022 年 8 月 1 日 第 75 回 CMSC 研究会日本知財学会 20 周年記念 コンテンツ・マネジメント分科会連続研究会
第 4 回「デジタルツインと知的財産法上の課題」
- 2022 年 8 月 25 日 第 76 回 CMSC 研究会日本知財学会 20 周年記念 コンテンツ・マネジメント分科会連続研究会
第 5 回「AR サービスと知的財産」
- 2022 年 9 月 29 日 第 77 回 CMSC 研究会日本知財学会 20 周年記念 コンテンツ・マネジメント分科会連続研究会
第 6 回「アバターにまつわる権利関係」
- 2023 年 3 月 29 日 第 69 回定例研究会(第 78 回 CMSC 研究会)「メタバースと知的財産法～2022 年度の総括と 2023 年の展望～」

【知財制度・判例分科会】

- 2022 年 6 月 20 日 第 67 回判例研究会<報告判例>
知財高判 令和 3 年 12 月 22 日、令和 3 年(ネ)第 10046 号
「懲戒請求書」事件
- 2022 年 10 月 15 日 第 68 回判例研究会<報告判例>
東京地判令和 3 年 9 月 3 日、令和 1 年(ワ)第 11673 号
「ふんわりルームブラ事件(差止請求等請求事件)」
- 2022 年 12 月 5 日 第 69 回研究会「韓国におけるメタバースと商標」
- 2023 年 3 月 16 日 第 68 回定例研究会(第 70 回研究会)「メタバースにおけるコンテンツ及びブランド保護―台湾実務動向を中心に」

【経営デザイン分科会】

- 2022 年 4 月 21 日 第 14 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2022 年 5 月 19 日 第 15 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2022 年 6 月 16 日 第 16 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2022 年 7 月 21 日 第 17 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2022 年 8 月 18 日 第 18 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
- 2022 年 9 月 15 日 第 19 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」

2022 年 10 月 20 日	第 20 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
2022 年 11 月 17 日	第 21 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
2023 年 2 月 16 日	第 22 回研究会「経営デザインシート活用事例発表研究会」
2023 年 3 月 16 日	第 67 回定例研究会（第 23 回研究会）「大企業における『経営をデザインするという考え方』の浸透について」

【ブランド経営分科会】

2022 年 6 月 29 日	第 10 回研究会「モノづくり企業を活性化する 4 つの秘訣」
2022 年 11 月 6 日	年次学術研究発表会セッション「ファッションローの現在地と展望」
2023 年 3 月 13 日	第 66 回定例研究会（第 11 回研究会）「地理的表示保護制度と地域団体商標の活用の現在」

■定例研究会

※分科会活動の欄に記載

■エグゼクティブ知財時事懇談会

2022 年 6 月 1 日	第 58 回「経済安全保障関連法に関して」
2022 年 12 月 26 日	第 59 回「2022 年知財のトピックを振り返って」

(2) 研究会、研究発表会、講演会等の開催（定款第5条第2号）

知的財産に関する学術研究発表会、シンポジウム等を以下のとおり開催した。

■学術研究発表会

第 20 回年次学術研究発表会 2022 年 11 月 2 日・5 日・6 日（オンライン、実施拠点：国立大学法人電気通信大学）

「持続的な企業価値の向上と知財・無形資産投資

～スタートアップとメタバースから経済安全保障まで」 参加者：421 人

《一般発表》

◇インテンシブ・プレゼンテーション（発表 30 分、質疑 10 分）	7 件
◇オーディナリー・プレゼンテーション（発表 15 分、質疑応答 5 分）	76 件

《一般発表カテゴリー別発表件数》

(1)	知財制度、国際化に関する課題 13 件	(6)	知財経営 12 件
(2)	ブランド・デザイン・コンテンツマネジメント 15 件	(7)	ビジネスモデル、ESG、SDG s 5 件
(3)	先端技術、IT、データ利活用 0 件	(8)	知財の実証分析 5 件
(4)	バイオ・ライフサイエンス 4 件	(9)	その他（知的財産の新領域） 6 件
(5)	知財人材育成、知財教育 6 件	(10)	学生発表 17 件

《シンポジウム》

- ・基調講演Ⅰ：「無形資産が企業価値を生む時代と制度の課題」

神田秀樹氏（学習院大学大学院 法務研究科教授 東京大学 名誉教授）

- ・基調講演Ⅱ：「ビジネスモデルと知財」

三瓶裕喜氏（アストナリング・アドバイザーLLC 代表 一橋大学 CFO 教育研究センター客員研究員・講師

投資家フォーラム共同設立メンバー・運営委員）

《分科会セッション》

※分科会活動の欄に記載

《企画セッション》

- ・経済安全保障の主要論点：国際政治学との架橋

- ・メタバース・Web3.0時代のコンテンツ権利処理とマネタイズ
- ・標準必須特許と研究開発・知的財産戦略：経営学との架橋
- ・新しい知財実務家育成の在り方
- ・企業を成長させる知財・無形資産ガバナンスの実践法
- ・医療情報の二次利用における課題
- ・IP ランドスケープをアップデートする
- ・知的財産大学院の現状と課題—これからの知的財産大学院に求められるものは何か—
- ・サーキュラーエコノミーで知財・標準の制度とマネジメントが激変する？～資源循環経済の衝撃を考える～
- ・知財・無形資産ガバナンスの体制構築と実践法
- ・成長ストーリーとしての知財・無形資産情報開示の在り方
- ・企業における知財経営の実践のための経営層と知財部門とのコミュニケーション
- ・知財・無形資産投資活用戦略（7つのアクション）策定と実践方法
- ・スタートアップが直面する知的財産の課題について
- ・企業価値を創造する知財・無形資産、その投資・活用戦略の実践法

《協賛セッション》

- ・日本弁理士会協賛セッション「近年の核酸技術の実用化を支える知財」

■シンポジウム

【春季シンポジウム】

「知財とガバナンス - 経済安全保障に焦点を当てて」

2022年7月4日 オンライン 参加者：約350人

＜プログラム＞

【オープニング】	渡部 俊也氏（東京大学 教授/本学会会長）
基調講演	「経済安全保障と新しい資本主義の形」 大橋 弘氏（東京大学大学院 経済学研究科 教授）
【パネル討論Ⅰ】	「特許出願の非公開制度の概要」
ポジショントーク	小新井 友厚氏（内閣官房 国家安全保障局 参事官） 「経済安全保障の動きに合わせた企業内の取組と知財活動」 長澤 健一氏（キヤノン株式会社 専務執行役員/知的財産法務本部長/経済安全保障統括室長） 「特許非公開制度を見据えた機微技術 知財実務の展望」 森 達也氏（三菱重工業株式会社 知的財産部長） 「特許非公開制度が及ぼす影響を考える」 杉村 純子氏（日本弁理士会 会長/プロメテ国際特許事務所 代表弁理士） 「米国の秘密特許制度の実証分析からの知見」 吉岡（小林） 徹氏（一橋大学イノベーション研究センター 講師）
【パネル討論Ⅱ】	パネル討論Ⅰパネリスト全員
ディスカッション	モデレータ 渡部 俊也氏（再掲）
【クロージング】	渡部 俊也氏（日本知財学会会長）

【日中韓連携知的財産シンポジウム】

2022年12月28日（配信拠点：中国） オンライン（Zoom ウェビナー）

主催：中国知識産権研究会

協力：日本知財学会、韓国知識財産学会

＜プログラム＞

来賓挨拶	魯鵬奇氏（中国国家知識産権局 副局長）
各国代表挨拶	田力普氏（中国知識産権研究会 理事長） 渡部俊也氏（日本知財学会 会長） 韓志泳氏（韓国知識財産学会 会長）
共同テーマ	◆「デジタル経済時代の知的財産権の使命と役割」 モデレータ：謝小勇氏（中国知識産権研究会 秘書長） 講演者 張志成氏（中国国家知識産権局 知的財産保護司長） 仁科雅弘氏（日本国特許庁 企画調査課長） 金明燮（Kim Myung-sub）氏（韓国特許庁 工業所有権政策課長）
テーマ1講演	◆「データ知的財産の保護規則」
講演者相互交流	モデレータ：管育鷹氏（中国社会科学院 知的財産センター長） 「データ所有権の保護」 王懷宇氏（中国国務院発展研究センター 科学研究処長） 「日本におけるデータ保護」 渡邊遼太郎（東京八丁堀法律事務所 弁護士） 「データ資産の知的財産権（IP）保護」 金元五（仁荷大学法学院 教授） ◆コメント 趙偉氏（中科專利商標代理有限公司 シニアパートナー） 吉岡（小林）徹氏（一橋大学イノベーション研究センター 講師） 金炳一（Kim Byung-il 陳文煊氏（世寧弁護士事務所 パートナー弁護士）
テーマ2講演	◆「メタバースにおける知的財産に係る論点と役割」
講演者相互交流	モデレータ：宋河発氏（中国科学院 科学技術戦略コンサルティング研究員） 「メタバース知的財産権問題に対する考え方」 王淼氏（ハイアールYoujia 標準・知的財産部部长） 「日本におけるメタバース関連商標・意匠の理論と実務」 関真也氏（関真也法律事務所 弁護士） 「メタバースと商標法の変化：韓国の最近の動向」 羅鍾甲（Jong-Ja Roh）氏（韓国延世大学法学院 教授） ◆コメント 党曉林氏（北京三友知識産権代理有限公司 パートナー弁護士） 久保雅一氏（株式会社小学館 取締役） 文善英氏（淑明女子大学 法学部 教授）
テーマ3講演	◆「医療分野の知的財産問題とパテントリンケージ制度」
講演者相互交流	モデレータ：崔国斌氏（清華大学法学院 教授）

「医療知的財産権と薬品パテントリンケージ」

馮曉青氏（中国政法大学 知財法学院 教授）

「日本におけるパテントリンケージの運用実態」

石埜正穂氏（札幌医科大学 医学部先端医療知財学 教授）

「医薬品パテントリンケージ」

申惠恩氏（韓国忠北大学法学院 教授）

◆コメント

唐鉄軍氏（北京万慧達知識産権代理有限公司 パートナー）

奥村洋一氏（日本知財学会 理事）

朴晟敏（Sungmin Park）氏（HnL 法律事務所 弁護士）

テーマ4講演

◆「ポストコロナ時代の経済復興に向けた知財の役割」

講演者相互交流

モデレータ：馬一徳氏（中国科学院大学 公共政策管理学院 教授）

「ポストコロナの時代における知的財産権がデジタル経済の高品質な発展を牽引することに関する考察」

戚湧氏（南京理工大学 江蘇省国際知的財産研究所 教授・所長）

「ポストコロナの時代における企業知財活動とそれを支える知財制度のあり方」

上野剛史氏（日本知的財産協会 専務理事）

「デジタル化モデルチェンジとグローバル経済の回復に対する IP の役割と論争の焦点」

孫承佑氏（韓国知的財産研究院 院長）

◆コメント

呉大建氏（北京聿宏知識産権代理有限公司 会長・シニアパートナー）

寺川耕司氏（日本知的財産協会 国際第三委員会 委員長）

尹宣熙氏（漢陽大学校法科大学院 名誉教授）

クロージング

謝小勇氏（中国知識産権研究会 秘書長）

(3) 知的財産に関する人材育成（定款第5条第3号）

知的財産に関する人材育成事業として、以下の事業を行った。

■知的財産大学院協議会

- ・知的財産大学院協議会の活動を支援した。

■その他

- ・弁理士を対象とした継続研修に認定された催しを開催し、高度専門職に対する知的財産教育に協力した。

(4) 知的財産に関する調査研究・啓発活動（定款第5条第4号）

① 知的財産に関する啓発活動として、以下の後援を行った。

- ・「第18回日本TRIZシンポジウム2022」（2022年9月1日、2日） 主催：NPO法人日本TRIZ協会
- ・輸出管理DAY for ACADEMIA 2022「新たな局面を迎える大学輸出管理」（2022年8月5日） 主催：輸出管理DAY for ACADEMIA
- ・「グローバル知財戦略フォーラム2023」（2023年1月27開催） 主催：特許庁、独立行政法人工業所有権情報・研修館

② 学会ホームページ上に、知的財産に関する情報（公益性を有するもの）を掲載した。

④ 日本弁理士会の外部委員候補者を推薦した。

(5) 学会誌及び学術図書の刊行（定款第5条第5号）

■日本知財学会誌

企画論文及び投稿論文（査読付き）を掲載した日本知財学会を3冊発刊した。

- ・第19巻第1号（2022年10月20日発行）
「「商標と意匠の交錯」について」
- ・第19巻第2号（2022年12月20日発行）
「フードテック時代における知財と風土（テロワール）、食文化と消費への示唆：規格・基準と規範・倫理の整理と国内外の動向の最新事情」
- ・第19巻第3号（2023年3月20日発行）
「日本知財学会創立20周年記念」

発刊日より2年を過ぎた既刊誌に掲載された論文のうち、著者の許諾を得られた論文のWEB公開を進めた。

■学術研究発表会予稿集

第20回学術研究発表会の一般発表予稿及び企画セッション概要を収めた予稿集（電子媒体）およびプログラム冊子を発行した。

(6) 知的財産に関する表彰（定款第5条第6号）

■日本知財学会 産業功労賞

第19回日本知財学会産業功労賞表彰（2022年6月27日）

受賞法人：サントリーホールディングス株式会社

■学生優秀発表賞

学術研究発表会にて優れた研究発表を行った学生1人を表彰した。

(7) その他必要な事業（定款第5条第7号）

■総会の開催

一般社団法人日本知財学会 第12回通常総会

（2022年6月27日、AP市ヶ谷Room D）

第1号議案 2021（令和3年）年度事業報告の件 第2号議案 2021（令和3年）年度収支決算報告の件

第3号議案 役員改選の件

報告1 2022（令和4年）年度事業計画の件 報告2 2022（令和4年）年度収支予算の件

■理事会の開催

一般社団法人日本知財学会理事会

（2022年6月27日、2022年10月17日、2022年3月24日〔オンライン〕）

会員の状況

	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在	増減数
正会員（個人）	866人	854人	12人減
正会員（法人）	22法人（47口）	22法人（47口）	増減なし
賛助会員（法人）	55法人（113口）	58法人（119口）	3法人（6口）増
学生会員	8人	20人	12人増
名誉会員	12人	12人	増減なし

役 員 理事18人、監事2人

事務局 事務局員11人、職員2人

.....

一般社団法人日本知財学会 2022 年度事業報告 附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則 第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に記載すべき事項はない。

貸借対照表 2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	2022年度	2021年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金	30,116,762	27,626,195	2,490,567
(2) 前払費用	0	0	
(3) 未収入金	0	0	0
(4) 仮払金	0	0	0
流動資産合計	30,116,762	27,626,195	2,490,567
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	1,500,000	1,400,000	100,000
(3) その他固定資産			
定期預金	75,598	74,748	850
什器備品	2	2	0
固定資産合計	31,575,600	31,474,750	100,850
資産合計	61,692,362	59,100,945	2,591,417
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未払費用	1,573,212	1,350,253	222,959
(2) 預り金	62,267	70,438	△ 8,171
(3) 前受金	50,000	170,000	△ 120,000
(4) 仮受金	0	0	0
流動負債合計	1,685,479	1,590,691	94,788
1. 固定負債			
(1) 退職給付引当金	1,500,000	1,400,000	100,000
固定負債合計	1,500,000	1,400,000	100,000
負債合計	3,185,479	2,990,691	194,788
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
(うち基本財産充当額)	58,506,883	56,110,254	2,396,629
(うち特定資産充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産充当額)	(11,500,000)	(11,400,000)	100,000
正味財産合計	58,506,883	56,110,254	2,396,629
負債及び正味財産合計	61,692,362	59,100,945	2,591,417

貸借対照表 内訳表 2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	実施事業等会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I. 資産の部					
1. 流動資産					
(1)現金預金	18,070,057	6,023,353	6,023,352		30,116,762
(2)前払費用					0
(3)未収入金					0
(4)仮払金					0
流動資産合計	18,070,057	6,023,353	6,023,352	0	30,116,762
2. 固定資産					
(1)基本財産 定期預金			20,000,000		20,000,000
(2)特定資産 定期預金		10,000,000			10,000,000
退職給付引当資産	900,000	300,000	300,000		1,500,000
(3)その他固定資産 定期預金			75,598		75,598
什器備品	1	0	1		2
固定資産合計	900,001	10,300,000	20,375,599	0	31,575,600
資産合計	18,970,058	16,323,353	26,398,951	0	61,692,362
II. 負債の部					
1. 流動負債					
(1)未払費用	1,067,137	478,612	27,463		1,573,212
(2)預り金	37,361	12,453	12,453		62,267
(3)前受金			50,000		50,000
(3)仮受金					0
流動負債合計	1,104,498	491,065	89,916	0	1,685,479
1. 固定負債					
(1)退職給付引当金	900,000	300,000	300,000		1,500,000
固定負債合計	900,000	300,000	300,000	0	1,500,000
負債合計	2,004,498	791,065	389,916	0	3,185,479
III. 正味財産の部					
1. 一般正味財産	27,906,883	10,300,000	20,300,000		58,506,883
(うち基本財産充当額)			(20,000,000)		(20,000,000)
(うち特定資産充当額)	(900,000)	(10,300,000)	(300,000)		(11,500,000)
正味財産合計	27,906,883	10,300,000	20,300,000	0	58,506,883
負債及び正味財産合計	29,911,381	11,091,065	20,689,916	0	61,692,362